

実生の輝きづくり

昨年度に引き続き、見附小学校では『**みんな大好き 自分大好き 見小大好き**』という重点目標の下、様々な教育活動を行っています。

見附小学校グランドデザインで示した、徳・知・体の3本柱を中心に、学校評価アンケートの結果をお示しします。質の高い豊かな教育活動に向けて、今後もその数値の向上に努めてまいります。

教育目標

重点目標

自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる 見小の子

みんな大好き

（共生の心）

自分大好き

（自分に自信）

見小大好き

（学校が自慢）



「知・徳・体」での「肯定的評価」とは、 で示している数値です。

徳

絆プロジェクト ～豊かな心と確かな絆づくり～

目指す子どもの姿

思いやりの心を持ち、自他のよさや違いを認め合う子
帰属意識を高め、自他のために考えて行動する子

子ども

◆好きなこと、得意なこと、頑張ったことなどを、クラスの人からみとめられたり、ほめられたりすることがあります。【目標：肯定的評価80%】

子ども

◆みんながよこんでくれることや、みんなの役に立つことを見付けて取り組もうとしました。【目標：肯定的評価80%】

評価	R7前	評価	R7前
よくしている	32.1%	よくある	45.2%
だいたいしている	49.6%	ある	43.4%
あまりしていない	14.8%	あまりない	10.7%
ほとんどしていない	3.5%	ない	0.7%

係活動や当番活動、学校全体に関わる委員会活動等でみんなのために頑張ろうという気持ちが育っていることが分かりました。普段から温かい言葉掛けをする雰囲気を大切にします。行事が充実する2学期は、仲間とめあてを共有し、達成に向けて協働することを通して、**仲間の頑張りやみんなで支え合うことの気持ちよさ**を感じられるように支援します。

子ども

◆学校で友達や先生、お客さんにあいさつをしますか。【目標：肯定的評価80%】

子ども

◆地域の人にあいさつをしていますか。【目標：肯定的評価80%】

評価	R7前	評価	R7前
よくしている	41.3%	よくしている	35.2%
だいたいしている	46.1%	だいたいしている	41.8%
あまりしていない	10.3%	あまりしていない	18.2%
ほとんどしていない	2.4%	ほとんどしていない	4.8%

学校内でのあいさつはできていると感じている子が多いです。しかし、地域の人へのあいさつを「している」子が全体的に少なく、街頭指導でも「あいさつをする子が少ない」と報告を受けています。そこで、「学校内で会う人はもちろん、自分たちのために活動してくださる人（登下校ボランティアの方や街頭指導の方など）や顔見知りの近所の人にあいさつをしよう」と、相手を焦点化して働きかけていきます。**あいさつの気持ちよさを感じ、それが当たり前に見える姿**を目指します。

2学期
重点取組

- 一人ひとりの頑張りや認め合う場の設定と支え合う風土づくり
- あいさつを当たり前にする働きかけ

知

授業改善プロジェクト ～学力の向上を目指す授業改善～

目指す子どもの姿

自分の力を伸ばすと共に、仲間と一緒に伸びようとする子

子ども

◆授業では、むずかしいことでもあきらめず、自分の力を伸ばすために自分なりの方法で取り組んでいます。【目標：肯定的評価80%】

評価	R7前
している	50.0%
だいたいしている	43.2%
あまりしていない	4.8%
していない	2.0%

子ども

◆授業では、仲間の考えをよく聞いたり、分かりやすく自分の考えを伝えようとして、みんなのできるように取り組んでいます。【目標：肯定的評価80%】

評価	R7前
取り組んでいる	44.1%
だいたい取り組んでいる	47.2%
あまり取り組んでいない	8.3%
取り組んでいない	0.4%

難しいことに直面した際にも簡単に諦めず、できるようになるまで取り組める活動を積み重ねることができました。一方で、自分の考えを伝え、みんなのできるような活動への取組に課題が見られました。後期は「**教室の雰囲気づくり**」「**学習内容と課題の精選**」「**考えを伝え合えるような仕組み**」の3つを意識して授業改善を行っています。

保護者

◆お子さんは、何かに取り組むとき、むずかしいことでもあきらめず、自分の力を伸ばすために自分なりの方法で取り組んでいます。【目標：肯定的評価80%】

評価	R7前
よくある	22.7%
ときどきある	62.3%
ほとんどない	14.4%
ない	0.5%

子どもと保護者の方の評価には開きがあります。学習を通して育んだ「粘り強く取り組む力」を、家庭生活を含めた日常生活に活かすまでには、まだ課題があります。「何が分かるか」と「何が分からないか」など、学習に限らず、**子どもの試行錯誤の過程を大切に**し、もし、お子さんが諦めてしまった時にも「ここまで頑張ったね」とポジティブな声掛けと**頑張ったことへの価値づけ**をしていただけると、よりよい変容が期待されます。私たちも、粘り強く指導を続けていきます。

2学期
重点取組

- 「みんなができる」を意識したニーズに合わせた職員研修
- 子どもの「学びたい、関わりたい」という思いを引き出す授業研究

体

体づくりプロジェクト ～健やかな体と体力づくり～

目指す子どもの姿

自分に合わせためあてを決め、達成にむけて運動や生活をする子

子ども

◆体育授業では、めあてをもって運動に取り組んでいます。【目標：肯定的評価90%】

評価	R7前
取り組んでいる	56.3%
だいたい取り組んでいる	34.5%
あまり取り組んでいない	6.6%
取り組んでいない	2.6%

1学期は運動会を目標に、一人ひとりが自分のめあてを立て、練習方法を工夫して取り組んだことが大きな力となりました。また、低学年からワークシートを使った学習も、自分の課題を振り返りながら努力する姿に繋がっています。**子どもたち自身の主体的な取組**が、この成果を生み出しました。

子ども

評価	R7前
21:00より前	15.3%
21:00～21:59	54.1%
22:00～22:59	22.3%
23:00～23:59	5.9%
24:00以降	2.4%

目標を下回りました。
R6年度は、73.5%

◆平日は何時ごろ寝ますか。
【目標：22時以前の就寝70%】

保護者

評価	R7前
21:00より前	11.5%
21:00～21:59	60.7%
22:00～22:59	24.1%
23:00～23:59	3.7%
24:00以降	0.0%

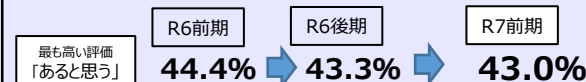
児童の就寝については高学年になるほど就寝が遅くなる傾向が見られました。要因としては、クラブチームへの参加や、生活リズムの変化が影響しているとアンケートからも分かります。そこで、2学期は高学年児童を対象とした「睡眠の大切さ」に関する講演会を実施し、**自分の生活リズムを見直す**きっかけを作りたいと思います。

2学期
重点取組

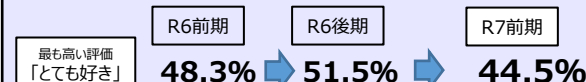
- 運動量の確保と体力テスト結果をもとにした各学年の取組
- 睡眠の良さを強調する指導及びメディアに関する指導

全ての教育活動の土台となる「大好き」という気持ち

○自分にはよいところがある(肯定的評価合計 **79.5%**)



○自分の学校のことが好き(肯定的評価合計 **86.9%**)



友達や先生、家族や地域の方々、自分たちが住む見附というまち、何より自分のこと。それらのことを、**素直に「大好き」と言える気持ち**が土台となり、心も体も学力も育まれていきます。**学校と家庭、地域の大人による子どもたちへの「大好きだよ」という温かいまなざし**を大切にしていましょ。

運動会は縮小され、持久走大会はなくなり、得意なことを発揮する機会がなくなっていると感じています。行事の削減の理由が、暑さであるなら、市内の小学校で取り組む行事に一貫性がないことも疑問です。

- ▶ 熱中症指数が「危険」を示す日や、時間帯が増えてきているため、体育的行事、体育授業のみならず、暑い時期の様々な活動の転換が求められています。見附市の各校でも行事等の見直しが図られているところです。
- ▶ 見附小学校では、『どの子どもスポーツを楽しむ』という観点から、「競技中心」から「スポーツに親しむ」ことを目的とした取組にも力を入れています。子どもが主体となって企画・運営するスポーツイベントの実施、体育の中で「体づくり運動」の授業改善を重点的に実施しています。子どもたちの豊かなスポーツライフ実現に向けて取り組みます。
- ▶ 各校の実情に合わせて教育活動は展開されておりますので、揃えられない部分もありますが、今後も見附小学校では、子どもたちの安心・安全を担保しながら、子どもたち一人ひとりが伸びていけるよう活動に取り組んでまいります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

いただいたご意見は全職員で共有しています。ありがとうございました。

いただいた自由記述のうち全校に関わるものについてお答えします。

